

～臨床医・薬剤師の見解/使用感に学ぶ～

# 自己注射の メリット・市場性と製品化へのニーズ

●日時：平成27年4月6日(月) 10:00～16:15 ●聴講料：1名につき 50,000円(消費税抜、昼食・資料付)  
 ●会場：[東京・五反田] 日幸五反田ビル8F [※社2名以上同時申込の場合のみ1名につき45,000円(税抜)]  
 技術情報協会 セミナールーム [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。詳しくはお問い合わせください]

## 1部 薬剤師から見た在宅自己注射製剤の過去、現状、未来

【10:00～11:15】 東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部 医薬品情報室 北村 正樹 氏

【講座主旨】在宅自己注射が可能な薬剤は、学会や患者団体からの要望のあった長期にわたって頻回の注射が必要な薬剤ごとに、患者の利便性の向上という利点から、病状の急変や副作用への対応の遅れという問題点を総合的に勘案して、限定して認められているのが現状である。本講演では、今までの在宅自己注射製剤の変遷をたどりながら、現状、海外との比較を含めて今後必要とされる自己注射製剤の一部を製剤技術の進歩と絡めて臨床現場で働く一薬剤師として話を進めていく予定である。

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 急速に進む人口高齢化</li> <li>2. 在宅自己注射製剤の変遷</li> <li style="padding-left: 20px;">・過去</li> <li style="padding-left: 20px;">・現在</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>3. 在宅自己注射製剤の未来</li> <li style="padding-left: 20px;">・製剤技術の進歩とともに</li> </ul> |
|---|--|

## 2部 医療経済的観点から考える自己注射

【11:30～12:45】 クレコンメディカルアセスメント(株) ディレクター 井上 幸恵 氏

【講座主旨】現在、医療経済評価の2016年試行的導入に向けた議論が進められていますが、今後の新医薬品の薬価交渉戦略においてはこうした動向を意識した考え方を取り入れる必要があると考えられます。本講座では医療経済的観点からみた自己注射製剤の価値評価のポイント、最新の費用対効果評価方法の紹介も織り交ぜながら、わかりやすく解説します。

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 自己注射製剤に関連する診療報酬</li> <li style="padding-left: 20px;">・医薬品の薬価基準制度の概要</li> <li style="padding-left: 20px;">・自己注射製剤に係る審議事項</li> <li style="padding-left: 20px;">・自己注射製剤に関連する診療報酬の内容と算定条件</li> <li>2. 自己注射製剤の薬価算定</li> <li style="padding-left: 20px;">・薬価算定組織における自己注射製剤の検討内容</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li style="padding-left: 20px;">・自己注射製剤の薬価算定</li> <li>3. 医療経済的観点からの自己注射の評価</li> <li style="padding-left: 20px;">・医療経済的観点からみた自己注射製剤の価値評価のポイント</li> <li style="padding-left: 20px;">・患者にとってのメリットの定量化</li> <li style="padding-left: 20px;">・薬価や保険交渉への活用の可能性</li> </ul> |
|--|--|

## 3部 リウマチ薬におけるこれからの理想的な自己注射像

【13:30～14:45】 順天堂大学 膠原病内科 准教授 天野 浩文 氏

【講座主旨】自己注射剤は経口的な投与が不可能な場合や、早い効果を期待するときなどに用いられる剤形である。患者が針をできるだけ見なくて済む、痛みが小さいなど、負担を減らすことができる点でも有用である。近年では関節リウマチの治療薬として生物学的製剤に適用されより広く用いられており、診断基準が変更となるほどの大きな影響をおよぼした。本セミナーでは臨床医の立場から、現在の自己注射の使用状況と要望などをふまえ、今後の理想的な薬剤について模索したい。

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 関節リウマチ患者の推移: 当院の外来・入院患者数等</li> <li>2. 自己注射剤の効果・有用性・使用感</li> <li style="padding-left: 20px;">・臨床医の視点</li> <li style="padding-left: 20px;">・患者の視点</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>3. 望まれる自己注射剤とは</li> <li style="padding-left: 20px;">・効果</li> <li style="padding-left: 20px;">・副作用</li> <li style="padding-left: 20px;">・材質</li> <li style="padding-left: 20px;">・サイズ</li> </ul> |
|--|--|

## 4部 骨粗鬆症の領域におけるこれからの理想的な自己注射像

【15:00～16:15】 宇都宮記念病院 整形外科 医師 岩本範頭 氏

【講座主旨】骨粗鬆症の薬物療法に対する考え方を示し、骨粗鬆症領域における自己注射の理想像について検討する。

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 骨粗鬆症の疫学</li> <li style="padding-left: 20px;">1.1 椎体骨折の発生頻度</li> <li style="padding-left: 20px;">1.2 大腿骨近位部骨折の発生頻度</li> <li style="padding-left: 20px;">1.3 骨粗鬆症治療の重要性</li> <li>2. 骨粗鬆症の薬物治療</li> <li style="padding-left: 20px;">2.1 骨粗鬆症治療薬の薬価収載の歴史</li> <li style="padding-left: 20px;">2.2 骨粗鬆症治療薬の特徴</li> <li style="padding-left: 20px;">2.3 骨粗鬆症治療薬の骨密度上昇効果</li> <li style="padding-left: 20px;">2.4 骨粗鬆症治療薬の骨折抑制効果</li> <li>3. 骨粗鬆症治療における薬剤選択</li> <li style="padding-left: 20px;">3.1 骨粗鬆症の重症度に応じた薬剤選択</li> <li style="padding-left: 20px;">3.2 歯の状況を考慮した薬剤選択</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4. コンプライアンス向上に役立つ骨粗鬆症治療薬</li> <li style="padding-left: 20px;">4.1 骨粗鬆症治療におけるコンプライアンスの現状</li> <li style="padding-left: 20px;">4.2 コンプライアンス低下に関与する患者側の要因</li> <li style="padding-left: 20px;">4.3 コンプライアンス低下に関与する薬剤側の要因</li> <li>5. 骨粗鬆症治療における自己注射のニーズ</li> <li style="padding-left: 20px;">5.1 骨粗鬆症治療における自己注射</li> <li style="padding-left: 20px;">5.2 自己注射に対する患者の認識</li> <li style="padding-left: 20px;">5.3 自己注射に対する医師の認識</li> <li style="padding-left: 20px;">5.4 理想的な自己注射像</li> </ul> |
|--|---|

「自己注射」セミナー申込書 No.504101 4/6

【講師紹介割引 30,000円(税抜)】

会社名 _____ 事業所 _____ 事業部 _____ 住所 〒 _____ TEL _____ FAX _____ 所属部課 役職名 _____ 氏名 (フリガナ) _____ e-mail _____ 受講者1 _____ 受講者2 _____ 今後ご希望しない案内方法に×印をしてください (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)	講師からの紹介として、1名につき30,000円(税抜)でご受講できます。2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。 ご記入いただいた個人情報は、セミナーの受付・運営や、今後のご案内のために利用いたします(セミナー講師の方へもお知らせいたします)。個人情報の詳しい取り扱いにつきましては、宛名の用紙、又は下記URLをご参照ください。 <a href="http://www.gijutu.co.jp/doc/privacy.htm">http://www.gijutu.co.jp/doc/privacy.htm</a> <b>技術情報協会</b> FAX 03-5436-5080 TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD. [申込専用]
---	--